

講義名	旅館事業経営論			授業形態	
担当教員	伊賀 尚武	開講期・曜日・時間	後期 水曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生
				ナンバリング・コード	ACH380

主題と概要
近年、日本の伝統的宿泊施設である旅館は、西洋型宿泊施設のホテルによって、その活躍の場を奪われることが多々発生しています。これは現代の旅行者が求めるサービスと旅館が提供するサービスとの間にギャップが生じているからだと考えられます。しかしながらこのような状況にあっても、創業以来200年以上もの長きに渡り営業を続ける"老舗旅館"と呼ばれる宿泊施設が存在することも事実です。本科目では、これらの旅館が明治維新や第二次世界大戦の荒波を乗り越え、現在もお存在感を放ち続けることができる理由を探ることにより、旅館経営のあるべき姿を学習するとともに、伝統文化の継承者である旅館の未来について共に考えます。

到達目標
》旅館業の基本知識が身につく。
》サービスマネジメントの基礎知識が身につく。
》老舗ビジネスの強みが理解できるようになる。
》旅館の社会的な役割について理解できるようになる。

提出課題
》講義後のミニレポート（250字以内）
》旅館事業の未来についてのレポート
》学期末テスト

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
ミニレポートでの疑問点や重要事項は次の講義の中でシェアする。

評価の基準
》ミニレポート 40% （第2～13回 授業後）
》旅館事業の未来についてのレポート 20% （第14回 授業中）
》学期末テスト 40%

履修にあたっての注意・助言他
授業の中で、できるだけ対話を取り入れたいと思います。こちらから挙手や回答を求めることがありますので、その時は積極的に関わってください。

教科書
.使用しない。

参考図書
.なし.

その他
毎回 自作パワーポイントを教材として使用。

授業計画
1. ガイダンス 予習内容：シラバス全体に目を通し、本講義の主題、授業構成、達成し得る成果を理解したうえでガイダンスに出席する（120分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、本授業の趣旨を理解したうえでアンケートに回答する（120分） 2. 旅館の歴史（日本における伝統的宿泊施設の歴史） 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 3. 旅館事業の課題 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 4. 旅館の事業形態 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 5. 旅館のオペレーション 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 6. 老舗旅館のマネジメントⅠ（老舗ビジネスの特徴） 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 7. 老舗旅館のマネジメントⅡ（老舗旅館のサービスマネジメント） 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 8. サービスマーケティングⅠ（人材、物的環境要素、提供過程） 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 9. サービスマーケティングⅡ（商品、価格、立地・チャネル、プロモーション） 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 10. ホテルとの差別化 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 11. 旅館のブランディング 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 12. 温泉旅館の事例 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 13. 都市型旅館の事例 予習内容：事前に提示する資料に目を通し、概要を把握したうえで講義に出席する（60分） 復習内容：講義資料やノートを見直し、理解を深めたうえでミニレポートの作成に取り組み（180分） 14. 旅館事業の未来について レポート 予習内容：講義資料やノートをもとに、レポート作成の準備をする（180分） 復習内容：講義資料とノートをもとにポイントを再確認する（60分） 15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
本学の目的である「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソンの育成」に基づくディプロ・マボリシーとして、観光学科共通の身に付けるべき能力（観光事業の仕組みや経営構造を把握・理解する思考力、顧客満足を得るために必要なホスピタリティとコミュニケーション力、課題解決や新たな価値を自ら作り出す想像力と提案力）の習得に深く関連している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
》授業中、意見やアイデアをICTを利用し発表する機会を設ける。 》授業の課題をICTで回答する。

実務経験の有無及び活用
実務経験あり、外資系ホテルで営業とマーケティングを担当、その経験を活かし"宿泊施設の価値創造"について皆さんと知恵の共有を図りたい。 また、本"旅館事業事業経営論"の中で老舗研究（一貫性と革新による永續経営）についての解説も行う。

備考
基本的に講義テーマに関連する書籍や資料の持ち込みは自由とする。